

自動車用 高電圧回路向け薄肉電線

開発中

2027年搭載予定

W/H細径化、軽量化およびカーボンニュートラルに寄与する高電圧薄肉電線

背景・課題

EVシフト、電動化推進により高電圧電線の大径化、需要増が見込まれる
低燃費、低電費に貢献する手段として薄肉電線の開発に着手

課題への解決・特徴

- 1

絶縁体、シースの薄肉化による重量の低減

▶ CO₂排出量の削減、燃費の向上
- 2

国際規格 ISO 19642 準拠

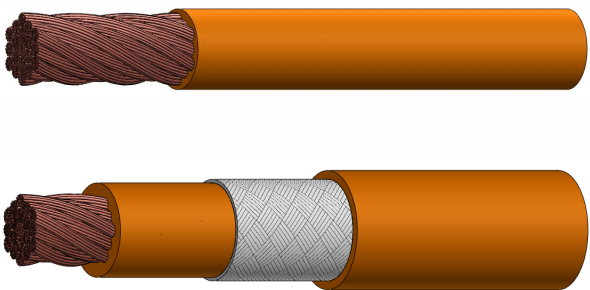
▶ グローバルへの展開
- 3

フレキシブル導体の採用

▶ 車載時の配索性向上

仕様	導体	材料 - 銅・アルミ	構造 - フレキシブル
	絶縁体	材料 - 架橋ポリオレフィン	構造 - 薄肉仕様
	耐熱クラス	Class D (-40℃~150℃)	
	定格電圧	a.c1000V, d.c1500V	
	サイズ	~95sq	
規格	ISO 19642-5	2019 - 単心銅導体電線	
	ISO 19642-6	2019 - 単心アルミニウム導体電線	
	ISO 19642-9	2019 - 単心銅導体シールド電線	
	ISO 19642-10	2019 - 単心アルミニウム導体シールド電線	

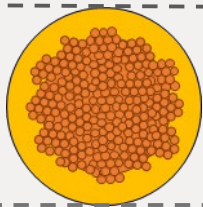
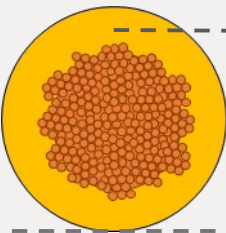
製品イメージ



例)50sq

従来品

開発品



絶縁体厚さ	1.5 mm	0.9 mm	▲40%
電線外径	13.1 mm	11.8 mm	▲10%
質量	530 g/m	500 g/m	▲ 6%
CO ₂ 排出量	1110g-CO ₂	1045g-CO ₂	▲ 6%